

答申を踏まえた基本的な方向性に係る
市民意見募集

令和8年3月

横浜市港湾局

目次

1	市民意見募集の概要	1
(1)	目的	1
(2)	募集期間・募集方法	2
(3)	回答数	2
(4)	回答者の属性	3
2	市民意見募集の集計方法	4
(1)	単純集計、クロス集計	4
(2)	自由意見の傾向	4
3	意見の概要	5
(1)	単純集計、クロス集計の結果	5
(2)	寄せられた主な意見	7

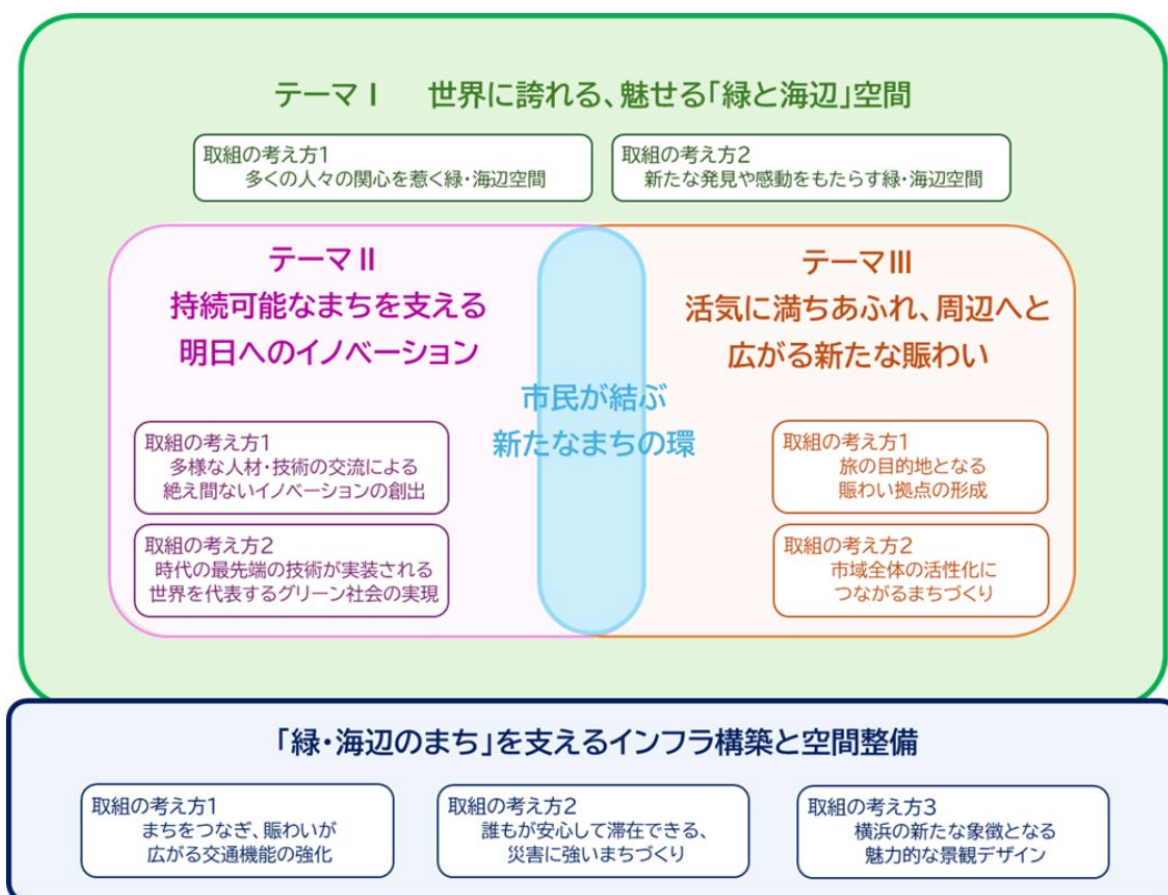
1 市民意見募集の概要

(1) 目的

山下ふ頭の再開発に向けて、令和3年から5年にかけて、市民意見募集や市民意見交換会等を実施し、その結果を踏まえ、令和5年8月から「横浜市山下ふ頭再開発検討委員会」を開催し、まちづくりの方向性や導入機能等についてご議論をいただき、令和6年12月に答申を受領しました。

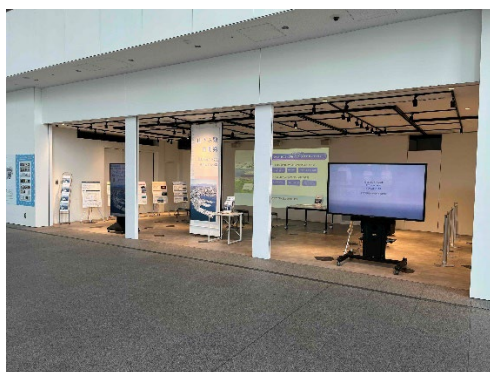
この答申を踏まえ、山下ふ頭再開発の基本的な方向性を取りまとめたので、「基本的な方向性」が示す新たなまちの将来像について、ご意見のある項目を選択いただき、項目に対するご意見（自由記述）を募集しました。

図表 1-1 新たなまちの将来像



(2) 募集期間・募集方法

募集期間	令和7年7月1日(火)～9月9日(火)
応募方法	・インターネット入力フォーム ・リーフレット付属はがき
SNSでの広報	・LINE、X、Instagram、Facebook ・パマトコ
その他広報	・プレゼンテーションスペース ・みなとみらい線各駅デジタルサイネージ ・各区役所のデジタルサイネージ ・PRボックス等



【プレゼンテーションスペース】



【デジタルサイネージ】

(3) 回答数

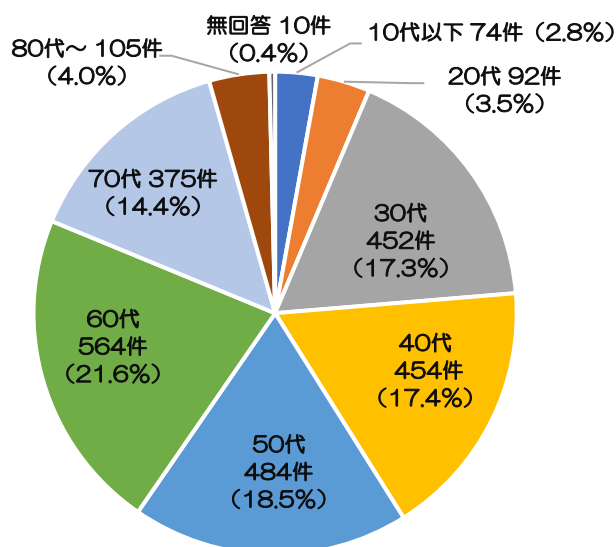
2,610件

【参考】提出方法の内訳

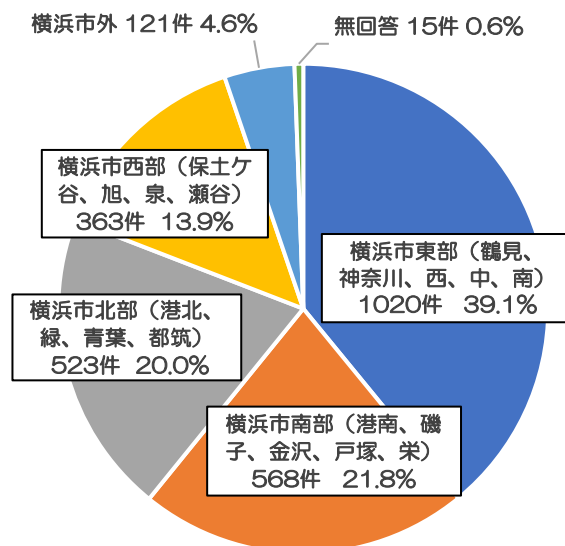
専用はがき	265件	
インターネット入力フォーム	2,336件	(うち、eアンケート 1,101件)
電子メール等	9件	

(4) 回答者の属性

図表 1-2 年代別割合



図表 1-3 居住地別割合



図表 1-4 年代、居住地別件数一覧

	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答	小計
鶴見区	7	6	30	25	27	37	26	6	0	164
神奈川区	2	3	38	50	34	33	19	5	0	184
西区	1	4	49	24	34	28	16	1	1	158
中区	1	3	81	96	66	79	33	4	1	364
南区	1	5	23	32	24	40	21	4	0	150
港南区	1	10	11	15	26	26	22	11	0	122
保土ヶ谷区	3	5	9	19	28	30	21	1	0	116
旭区	5	3	22	14	24	40	17	5	1	131
磯子区	0	6	12	22	23	24	16	8	0	111
金沢区	6	1	19	14	23	21	37	4	0	125
港北区	8	7	37	27	39	58	58	6	0	240
緑区	0	1	9	6	9	12	10	3	0	50
青葉区	1	2	19	13	22	30	26	7	0	120
都筑区	2	7	28	17	22	24	8	5	0	113
戸塚区	7	10	23	21	33	23	16	12	0	145
栄区	2	2	7	8	12	17	5	12	0	65
泉区	0	2	14	12	13	15	9	2	0	67
瀬谷区	0	2	8	3	10	12	8	6	0	49
横浜市内外	27	13	13	34	14	14	4	0	2	121
無回答	0	0	0	2	1	1	3	3	5	15
小計	74	92	452	454	484	564	375	105	10	2610

2 市民意見募集の集計方法

(1) 単純集計、クロス集計

各問における選択肢について、集計を行いました。また、回答者の年代や居住地による傾向を把握するため、クロス集計を行いました。

(2) 自由意見の傾向

自由意見については、選択肢ごとに市民の皆様からのご意見の全件を GPT-4.1 に学習させ、意見の要旨を複数にまとめました。

3 意見の概要

(1) 単純集計、クロス集計の結果

合計 2,610 件の意見については、山下ふ頭の将来像や各テーマについて、幅広く意見が寄せられました。

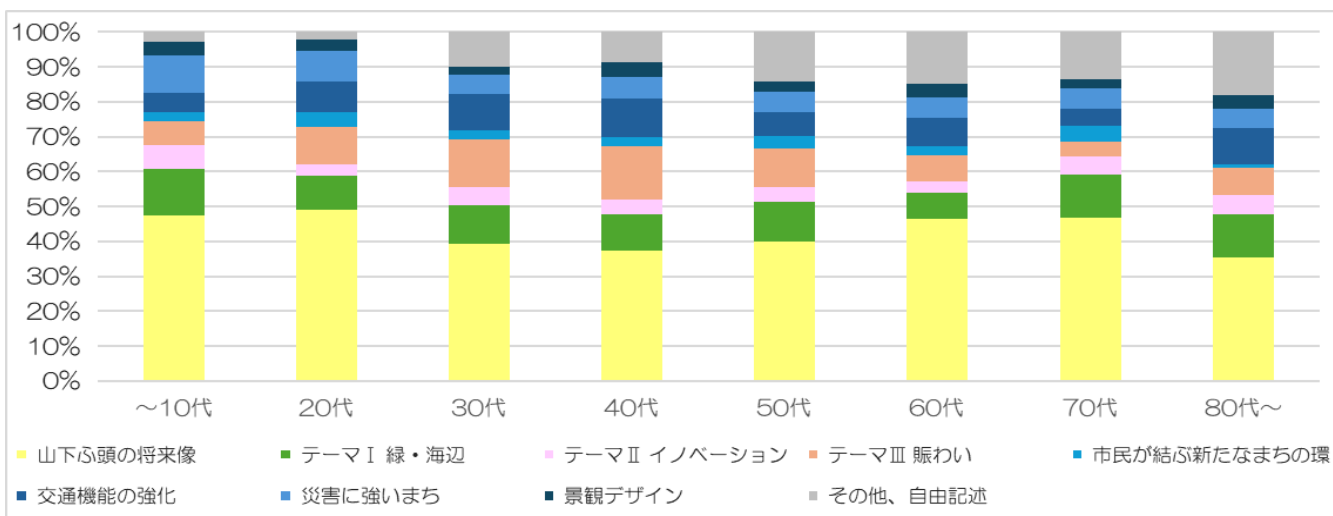
図表 3-1 回答意見の選択状況

意見分類	件数
山下ふ頭の将来像	1,099
再開発の各テーマと取組の考え方	1,199
テーマⅠ 緑・海辺	277
テーマⅡ イノベーション	113
テーマⅢ 賑わい	267
市民が結ぶ新たなまちの環	79
交通機能の強化	221
災害に強いまち	157
景観デザイン	85
その他、自由記述	312
計	2,610

図表 3-2 回答意見の選択状況（年齢別）

意見分類	各年代の意見数									計
	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答	
山下ふ頭の将来像	35	45	177	169	193	262	176	37	5	1,099
再開発の各テーマと取組の考え方	37	45	230	245	222	219	148	49	4	1,199
テーマⅠ 緑・海辺	10	9	51	48	55	43	46	13	2	277
テーマⅡ イノベーション	5	3	23	19	21	17	19	6	0	113
テーマⅢ 賑わい	5	10	62	69	54	42	16	8	1	267
市民が結ぶ新たなまちの環	2	4	11	12	16	16	17	1	0	79
交通機能の強化	4	8	48	50	34	46	19	11	1	221
災害に強いまち	8	8	24	29	28	32	22	6	0	157
景観デザイン	3	3	11	18	14	23	9	4	0	85
その他、自由記述	2	2	45	40	69	83	51	19	1	312
計	74	92	452	454	484	564	375	105	10	2,610

図表 3-3 回答意見の選択状況（年齢別・割合）



図表 3-4 回答意見の選択状況（居住地別）

意見分類	各居住区域の意見数①											
	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷区	旭区	磯子区	金沢区	港北区	
山下心頭の将来像	58	74	71	128	65	65	47	64	38	51	122	
再開発の各テーマと取組の考え方	73	83	74	187	72	49	55	55	59	62	97	
テーマⅠ 緑・海辺	20	22	8	41	19	14	12	10	12	21	29	
テーマⅡ イノベーション	6	7	17	10	6	7	5	4	5	8	10	
テーマⅢ 賑わい	18	21	23	41	12	12	8	21	17	8	19	
市民が結ぶ新たなまちの環	3	8	3	11	4	2	5	2	4	6	8	
交通機能の強化	16	11	9	53	13	6	11	6	11	9	8	
災害に強いまち	7	11	6	16	9	5	10	8	8	6	18	
景観デザイン	3	3	8	15	9	3	4	4	2	4	5	
その他、自由記述	33	27	13	49	13	8	14	12	14	12	21	
計	164	184	158	364	150	122	116	131	111	125	240	

意見分類	各居住区域の意見数②									
	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	横浜市外	無回答	計
山下心頭の将来像	21	52	45	71	29	25	17	54	2	1,099
再開発の各テーマと取組の考え方	23	48	56	59	24	37	24	53	9	1,199
テーマⅠ 緑・海辺	5	9	13	12	3	10	3	10	4	277
テーマⅡ イノベーション	3	3	4	7		3	5	3		113
テーマⅢ 賑わい	7	9	9	14	6	8	2	10	2	267
市民が結ぶ新たなまちの環	2	4	2	4	1	2	3	5		79
交通機能の強化	3	10	15	8	10	5	4	11	2	221
災害に強いまち	3	10	7	11	1	8	4	8	1	157
景観デザイン		3	6	3	3	1	3	6		85
その他、自由記述	6	20	12	15	12	5	8	14	4	312
計	50	120	113	145	65	67	49	121	15	2,610

テーマI 「緑・海辺」(277件)

ご意見の要旨

- ①海辺の自然や浜辺、水遊びなど、水に触れられるエリアや施設を充実させてほしい。安心して子どもや家族が楽しめる水辺空間・親水施設が欲しい。
- ②緑豊かで開放的な公園や自然に触れられる空間を整備し、市民が憩い・楽しめる場所にしてほしい。商業施設や高層ビルは最小限に抑えて、自然環境の保全や景観にも配慮してほしい。
- ③脱炭素や気候変動、生物多様性への配慮など、環境に優しいまちづくりを進めてほしい。
- ④市民が気軽に集い、子ども・高齢者・障がい者など多様な人が安心して訪れ交流できる場にしてほしい。
- ⑤山下公園や周辺エリアとの連携・一体的な緑地形成や開かれた動線設計を重視してほしい。
- ⑥自然を活かした防災・減災機能や災害対応力を備えた空間づくりをしてほしい。
- ⑦観光施設中心の開発よりも、市民生活を重視したオープンスペースや自然の場を優先してほしい。

テキストマイニング



「災害に強いまち」(157件)

ご意見の要旨

- ①地震や津波などの災害リスクに対応した防災拠点の整備や避難場所の確保、災害時の備蓄・物流機能の強化を行うようにしてほしい。
- ②津波や液状化など山下ふ頭特有の自然災害リスクについて、地盤やインフラ強化、防潮堤や津波避難タワーなど、土地の特性に合った具体的な対策を講じてほしい。
- ③防災マニュアルや多言語避難案内の作成、防災訓練・体験施設、情報発信の強化など、全ての利用者が災害時に迅速に行動できる環境を整備してほしい。
- ④港の特性を活かし、災害時には物資・救援の輸送や搬入を円滑に行い、病院船の受け入れやヘリポートの設置など、陸・海・空が連携した総合的な支援体制を築いてほしい。
- ⑤災害時の港湾や海上交通の安全を確保する具体策を実施してほしい。

テキストマイニング

